

二年 国語の休業中の課題① ^教科書を読んでまとめようV 二年 組 番氏名

まず、一年生の時の教科書と便覧を準備してください。教科書の一五八ページからの『今に生きる言葉』の学習をしましょう。答えは、家でこのプリントを印刷できる人はその紙に、できない人はノートに書きましょう。この内容は試験に出します。がんばってね。

一 次の空欄をうめなさい。

故事成語Ⅱ故事から生まれた言葉

故事とは、中国の古典に書かれた)

()のこと。

矛盾 (読み方

)

この言葉の「故事」は教科書の一五九ページに載っています。その故事から、「矛盾」という言葉はどんな意味になったのでしょうか。
(意味

)

二 次にあげる故事成語について、右の「矛盾」と同じように、読み方と意味を国語便覧を使って調べなさい。

(1) 推敲 (読み方

()意味

()

(2) 蛇足 (読み方

()意味

()

(3) 四面楚歌 (読み方

()意味

()

(4) 一炊の夢 (読み方

()意味

()

(5) 五十歩百歩 (読み方

()意味

()

(6) 蜚雪の功 (読み方

()意味

()

二年 国語の休業中の課題② ^教科書を読んで自分で文章を分析しようV

一年生の時の教科書を準備してください。教科書の二〇二ページからの『少年の日の思い出』の学習をしましょう。

まず、一年生の時の国語の授業を思い出してください。『花曇りの向こう』や『星の花が降る頃に』などで「物語の仕組み」を勉強しましたね。その時に、『自分の力で読み取ることができるようになる』ことを目標に、「物語の仕組み」を覚えるように話しました。さあ、『少年の日の思い出』という作品で、その力がついているか、試してみよう。

とは言っても、やることはいつもの授業の展開と一緒に。まず、何をしたかしら。そうですね。音読です。今は先生がお手本で読めないから、自分で『微音読』……小さな声で読む……してください。読み方が不安な言葉があったら、印をつけて、後で調べましょう。次はいよいよ分析です。いつも「自分で印をつけてごらん。」と先生が言っていて、みんなが作業を黙々としますよね。あれです。どこに印をつけたり、書き込んだりするのか……それは、例えば、登場人物は誰か、主人公は誰か、その人たちの性格や置かれた状況などです。また場面分けを確認して、その場面はいつ、どこの、どんな場面か、等々です。そして、「物語の仕組み」と照らし合わせて、日常I、事件、心情の揺れ、日常II、変化などを読み取っていきます。ノートに整理しても良いですね。

この「少年の日の思い出」については、すでにスタディサプリの授業を視聴する課題を出してありましたが、やりましたか。あの講義をもちろん参考に結構です。学校が再開されたら、授業でやっていきます。その時、自分で印をつけたところが先生が授業で押さえるポイントと一致するように、頑張りましょう。

追伸 「先生、この課題、もう自分でやりましたよ」というあなたへ

あなたは、偉い、素晴らしい。羅針盤でも書きましたが、これまで学んできたことを活かして、自分で取り組むことが大事なんです。それができているあなたは、偉い。自分の学びの在り方をちょっと自慢に思ってください。これが世にいう「予習」です。これからも続けてくださいね。

二年生の文章についても、小説以外のものも含めて、ガンガンやってみてくださいね。